

2006年3月期 第3四半期 決算説明会



TOYOTA

**トヨタ自動車株式会社
2006年2月7日**

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確実性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆日本、北アメリカ、ヨーロッパおよびトヨタが営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争的環境
 - ◆為替相場の変動、特に日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル及びイギリス・ポンドの相場変動
 - ◆経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率および向上と設備投資を実施するトヨタの能力
 - ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更で、特に貿易、環境保全、自動車排ガス、燃費効率、安全性の面などにおいてトヨタの自動車事業に影響を与えるもの、または将来の訴訟やその他の法的手続きを含めたトヨタのその他の営業活動に影響を与える法律、規制及び政府政策の変更など
 - ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
 - ◆タイムリーに新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにするトヨタの能力
 - ◆トヨタが材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中継されたり、困難である状況
- 以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(証券取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびED-NET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

TOYOTA

専務取締役

鈴木 武

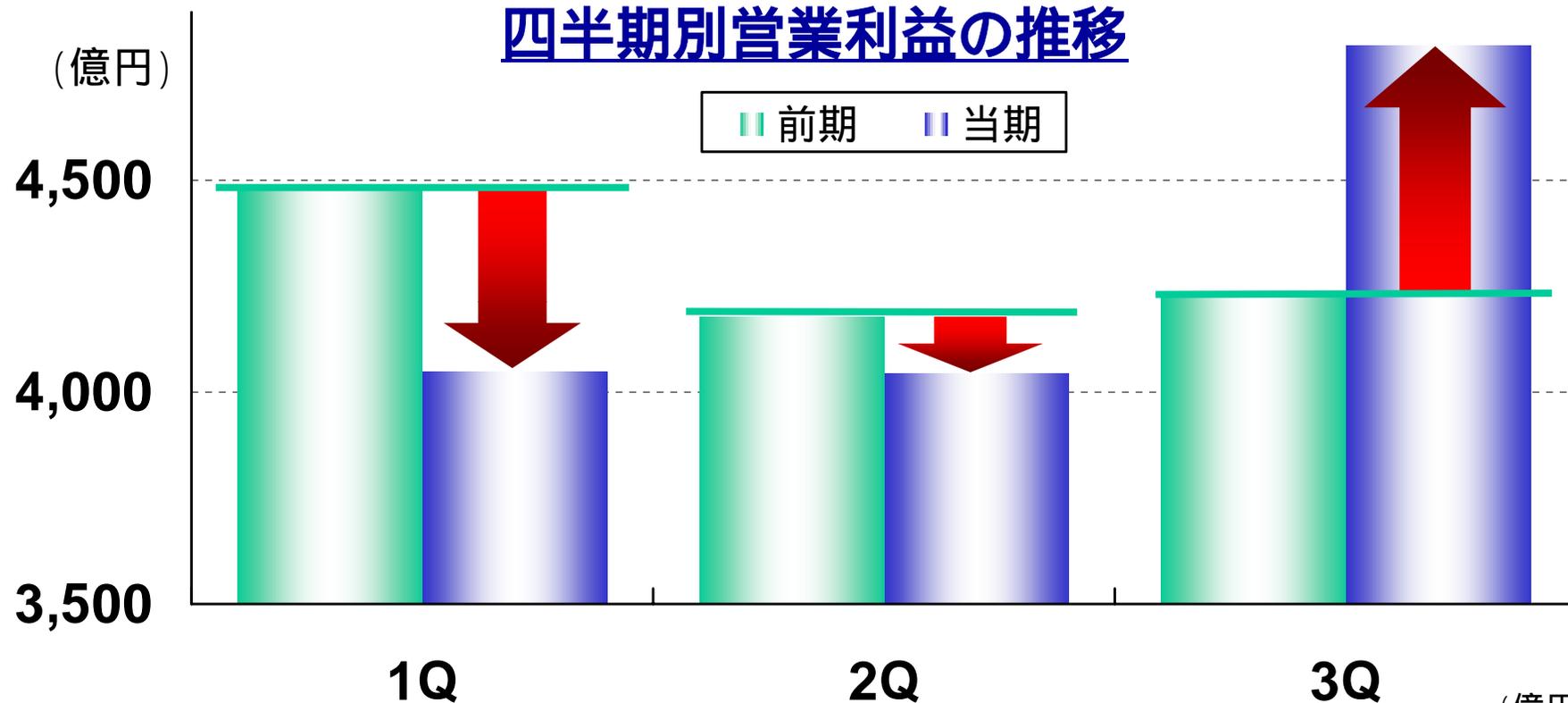
連結決算要約(3Q)

	当第3四半期 (05/10-12)	前年同期 (04/10-12)	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	53,333	46,440	6,893	14.8
営業利益	4,822	4,229	593	14.0
税金等調整前 当期純利益	6,399	4,471	1,928	43.1
当期純利益	3,975	2,965	1,010	34.1
為替レートの	117円/ドル	106円/ドル	11円の円安	
	139円/1-口	137円/1-口	2円の円安	

TOYOTA

当第3四半期で増益に

四半期別営業利益の推移



営業利益	1Q	2Q	1Q-2Q 累計	3Q	1Q-3Q 累計
前期	4,486	4,176	8,662	4,229	12,892
当期	4,051	4,043	8,094	4,822	12,917
増減	435	133	568	593	25

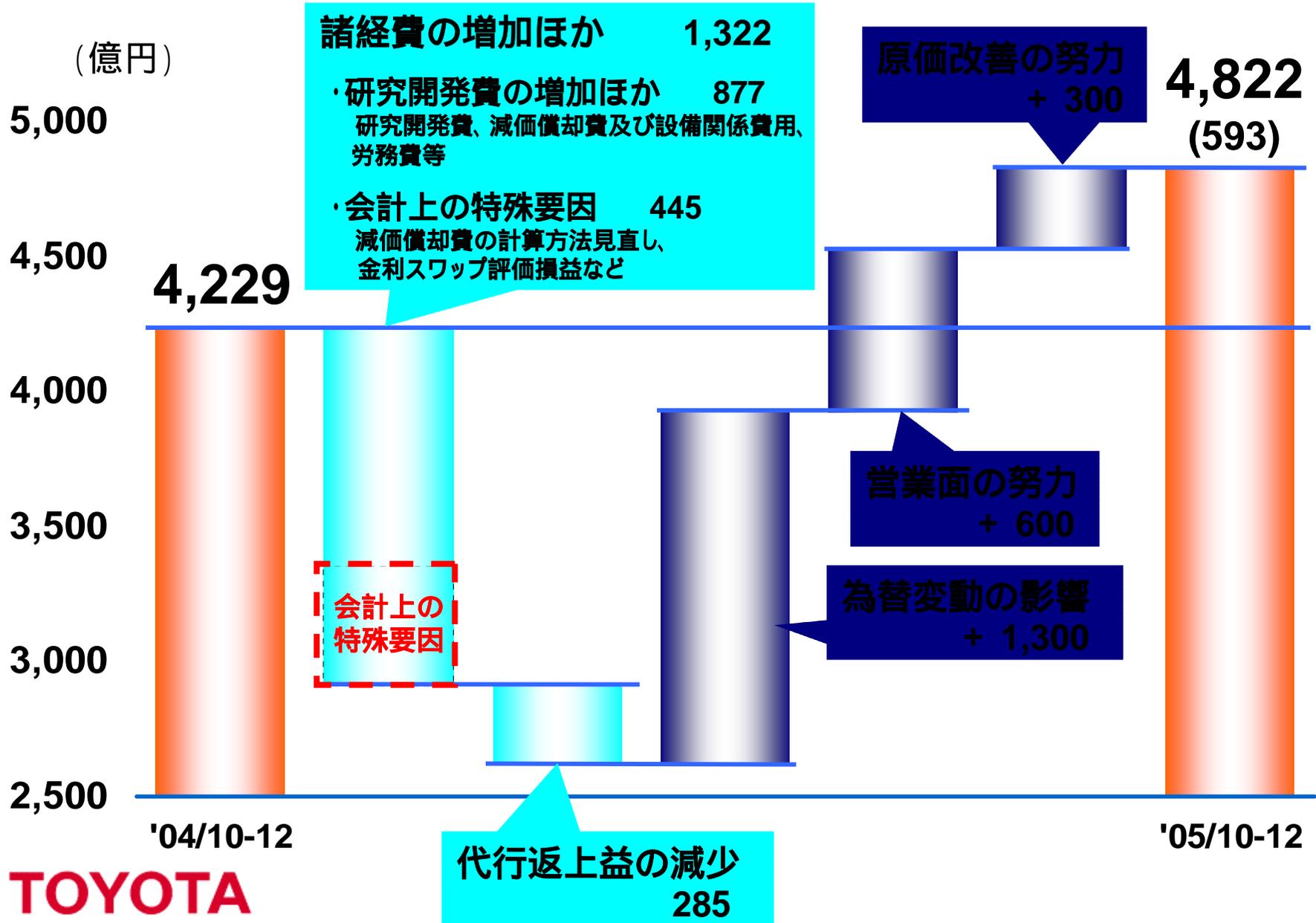
TOYOTA

連結決算要約(1Q - 3Q累計): プラスに転換

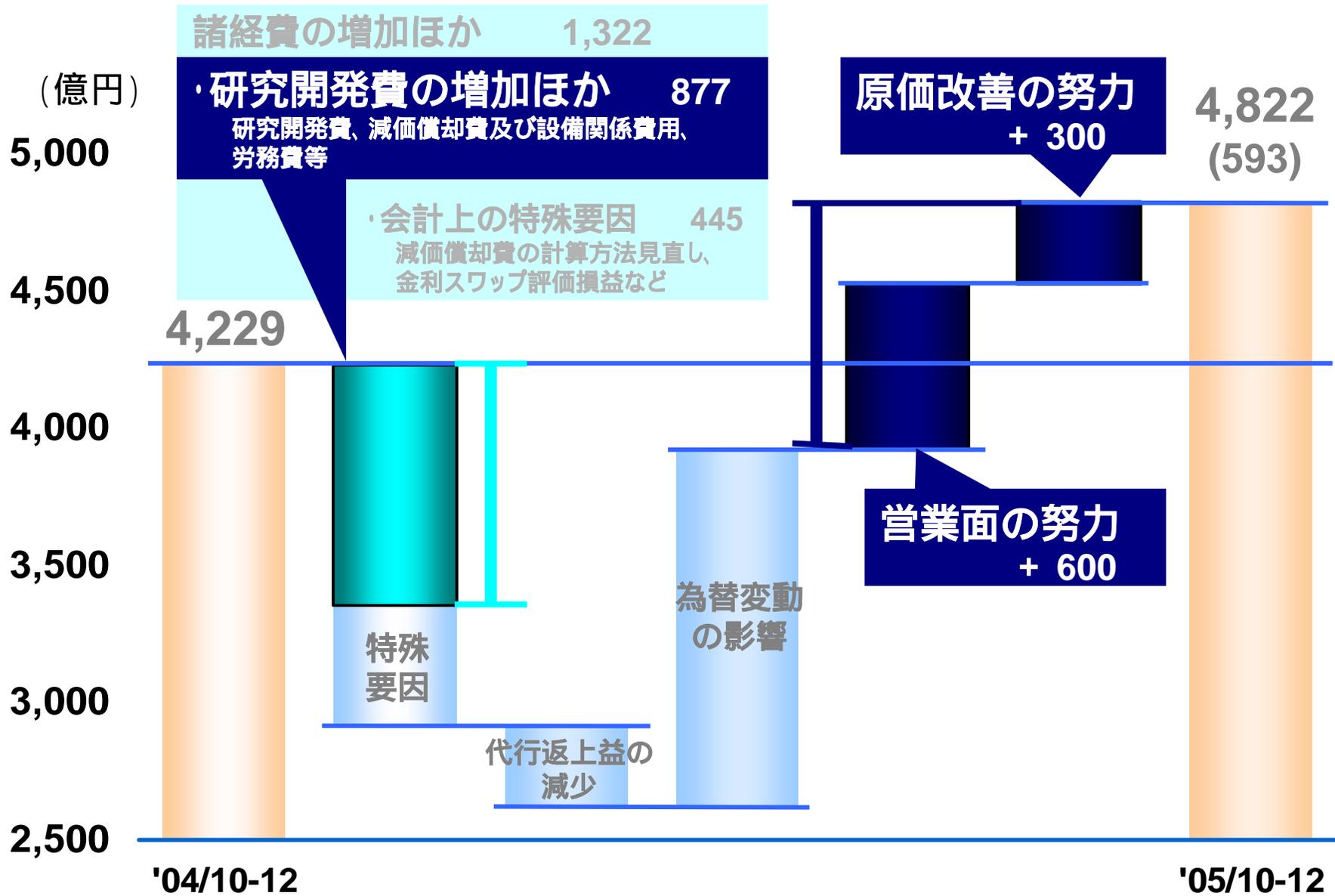
	当1Q-3Q累計 (05/4-12)	前年同期 (04/4-12)	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	152,865	136,697	16,168	11.8
営業利益	12,917	12,892	25	0.2
税金等調整前 当期純利益	14,959	13,604	1,355	10.0
当期純利益	9,680	8,805	875	9.9
為替レートの	112円/ドル	109円/ドル	3円の円安	
	137円/1-円	135円/1-円	2円の円安	

TOYOTA

連結営業利益増減要因

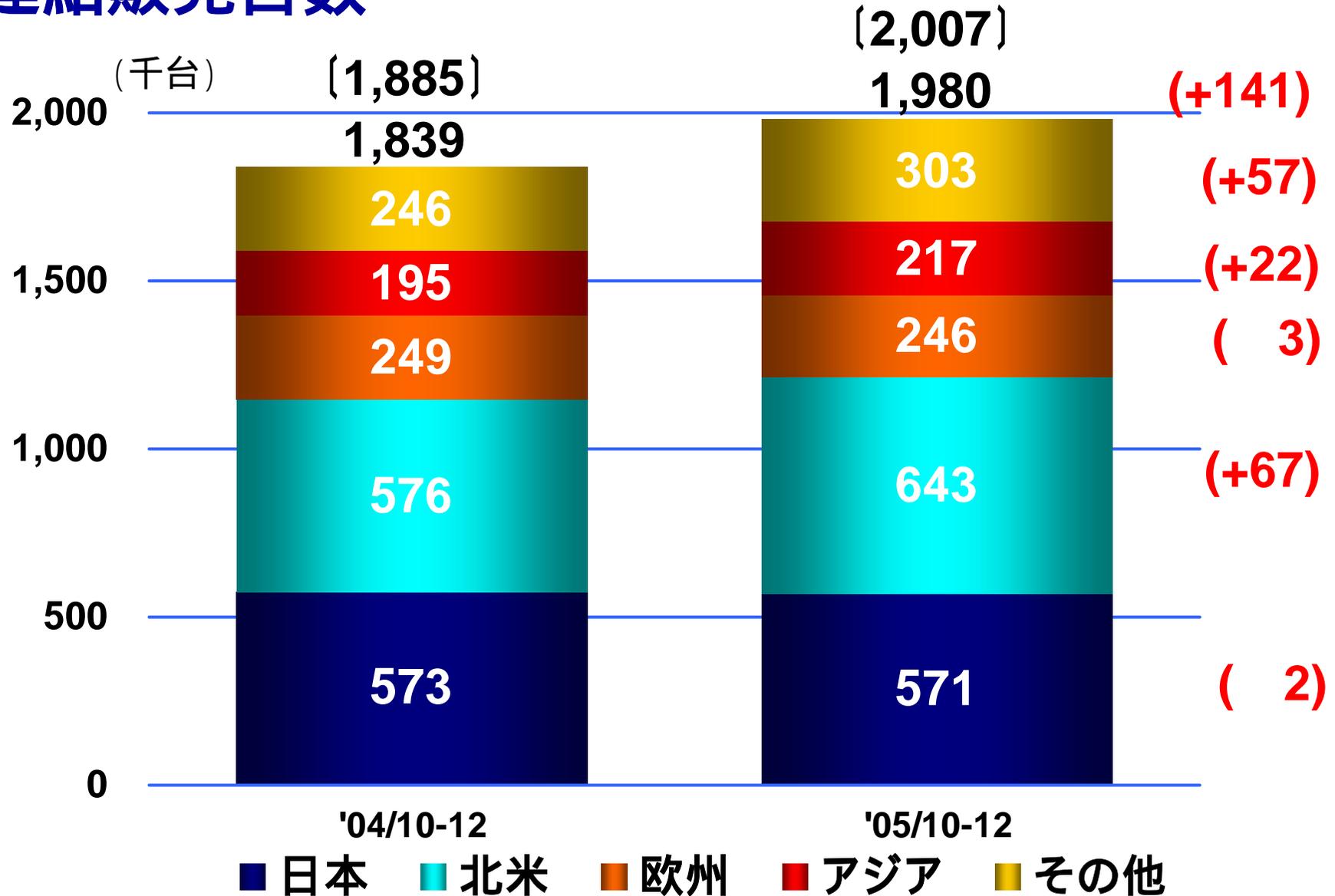


連結営業利益増減要因



TOYOTA

連結販売台数

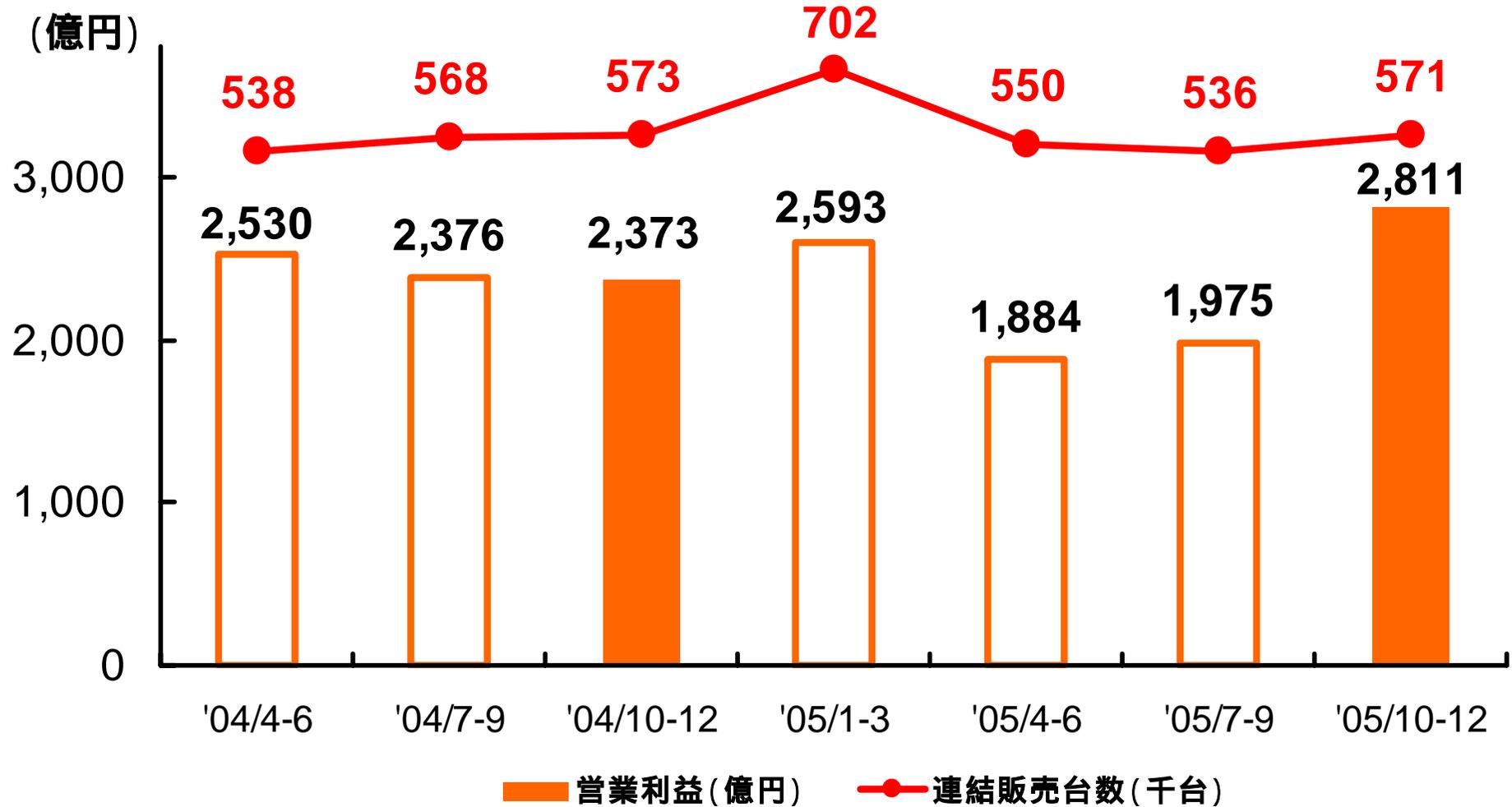


TOYOTA

()内はトヨタ/レクサス、ダイハツ、日野ブランドの総小売販売台数

()内は'04/10-12実績からの増減

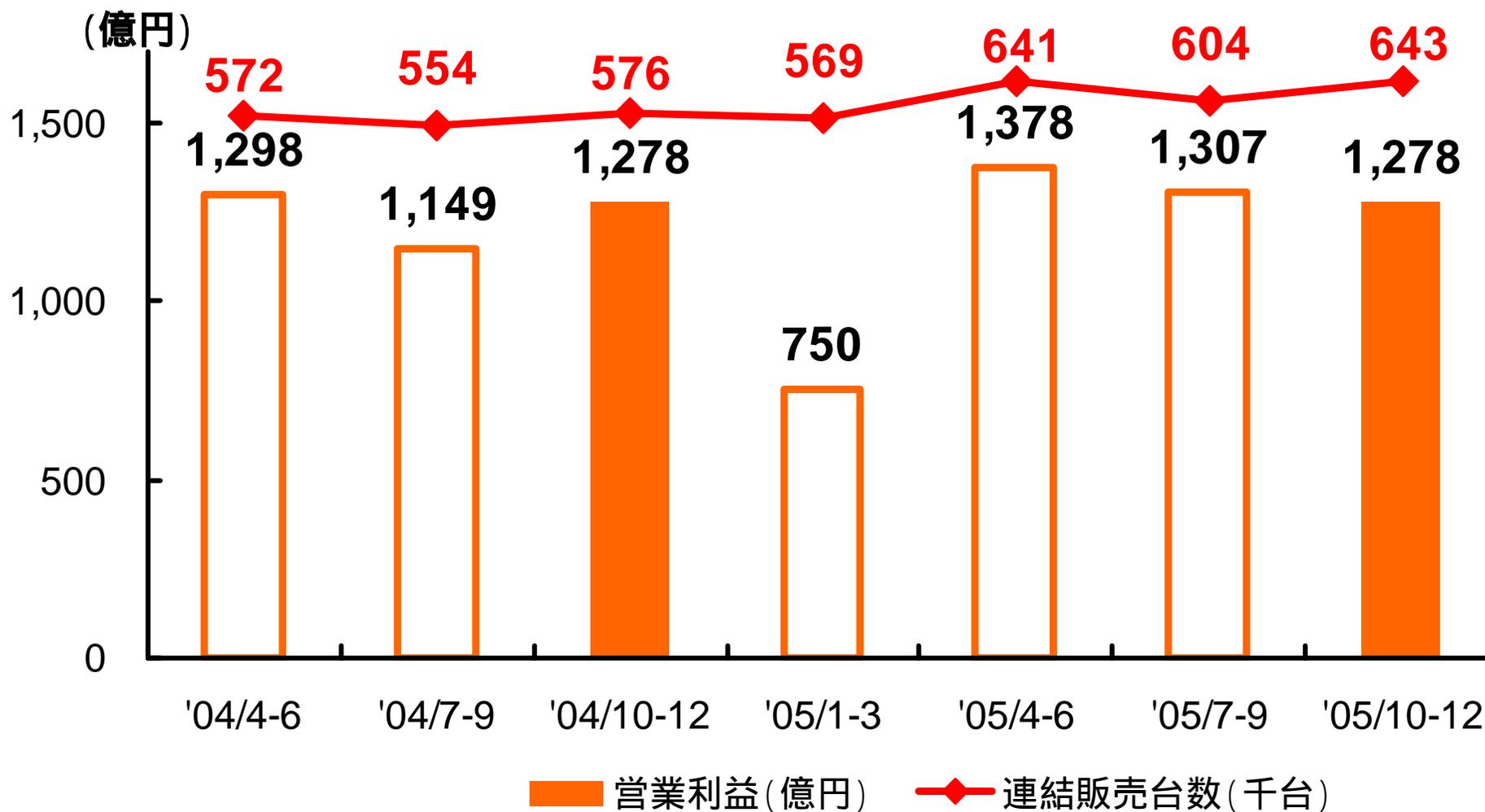
所在地別営業利益：日本



- ・能増により生産台数1,115千台 1,177千台へ増加、収益に貢献
- ・トヨタの販売は前年比微減ながら、シェアは高水準
- ・昨年12月～今年1月発表の新車効果を取り込む

TOYOTA

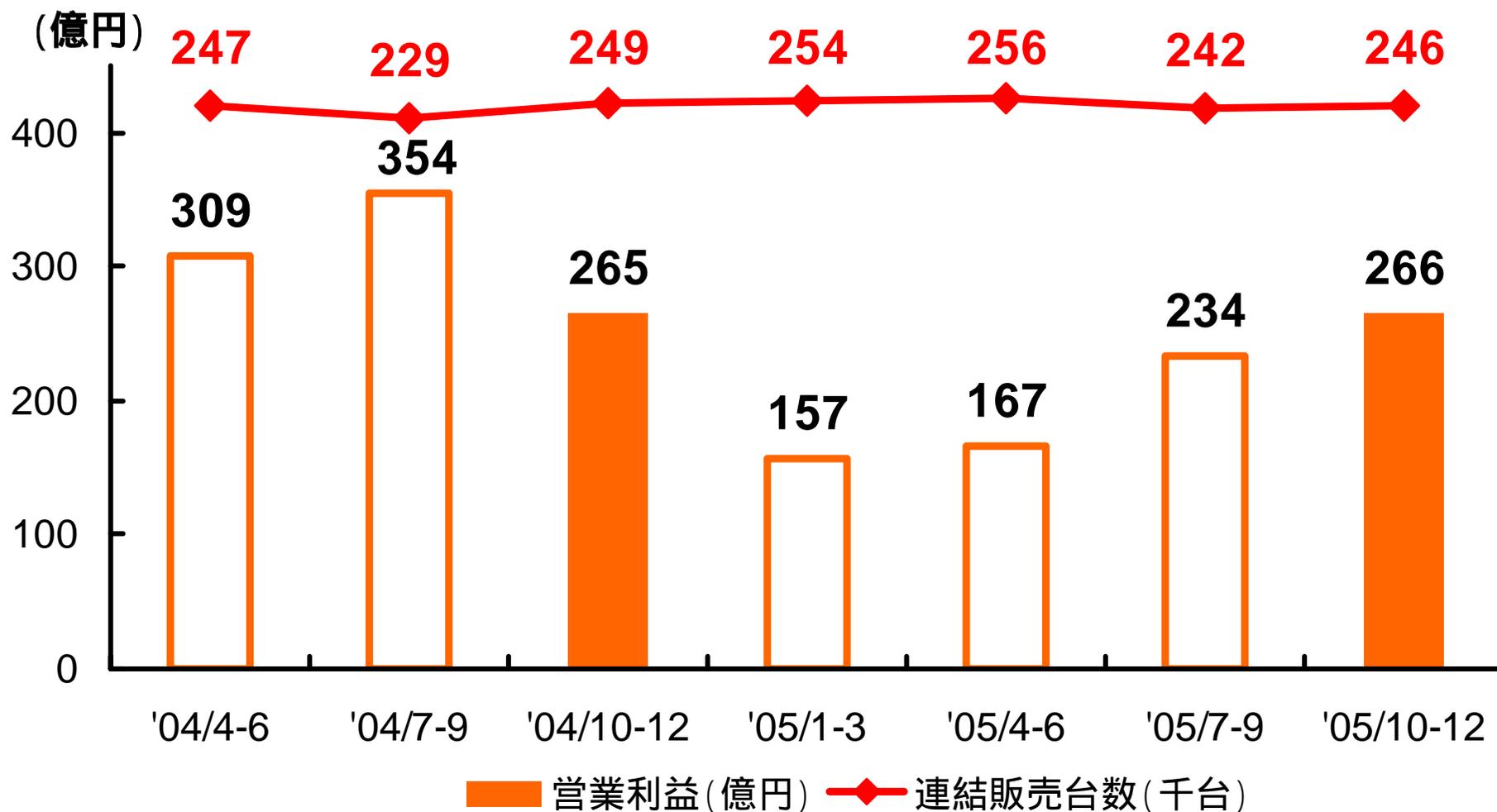
所在地別営業利益：北米



・販売台数は、67千台増加。新型車やコンパクト車を中心に好調
 ・高いレベルの収益を持続

TOYOTA

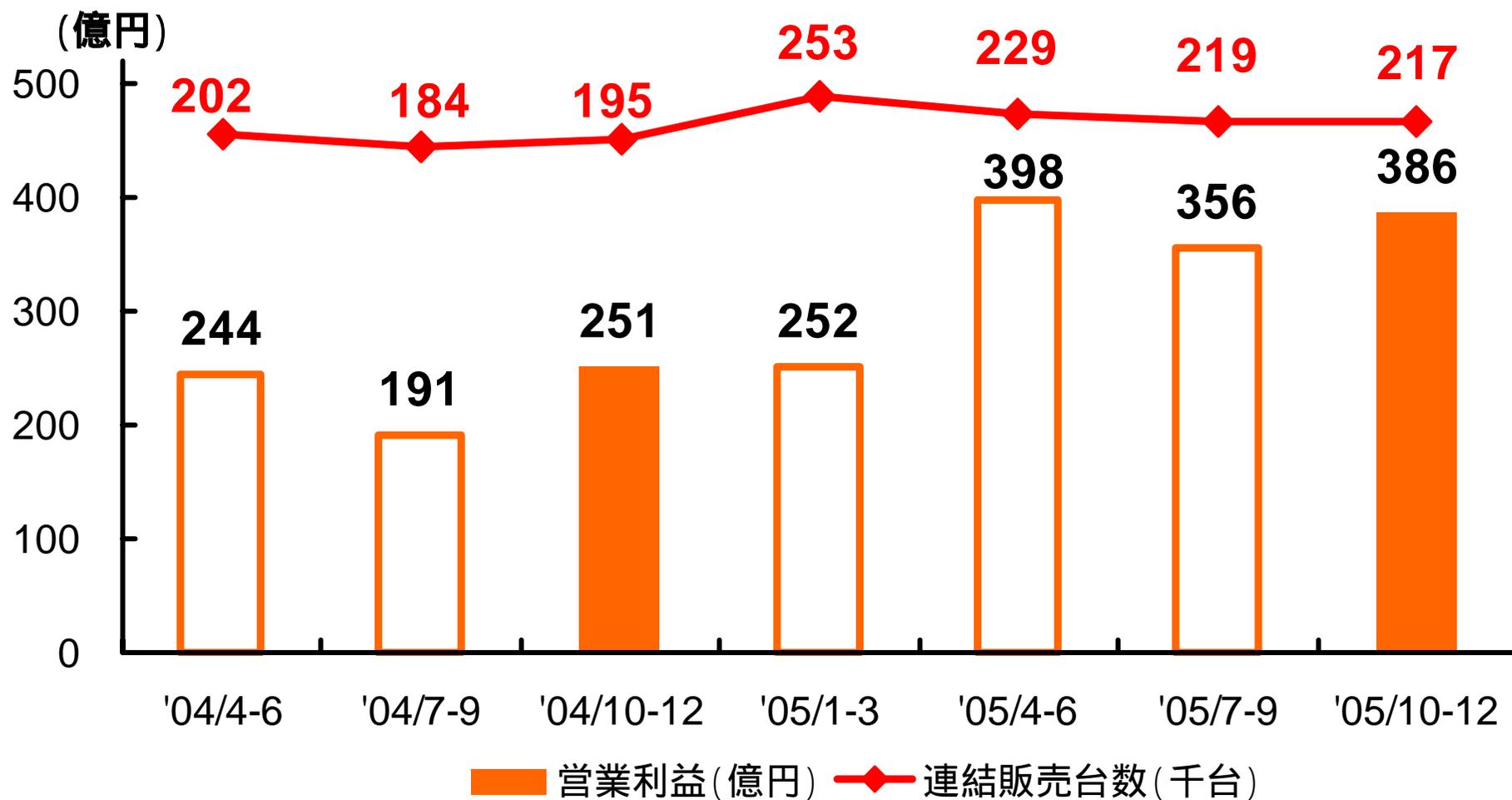
所在地別営業利益：欧州



- ・ヤリス・レクサスISの新型車投入に加え、4QにはRAV4も発売予定
- ・英国能増・フランスモデル切替が一段落
- ・昨年前半から徐々に回復

TOYOTA

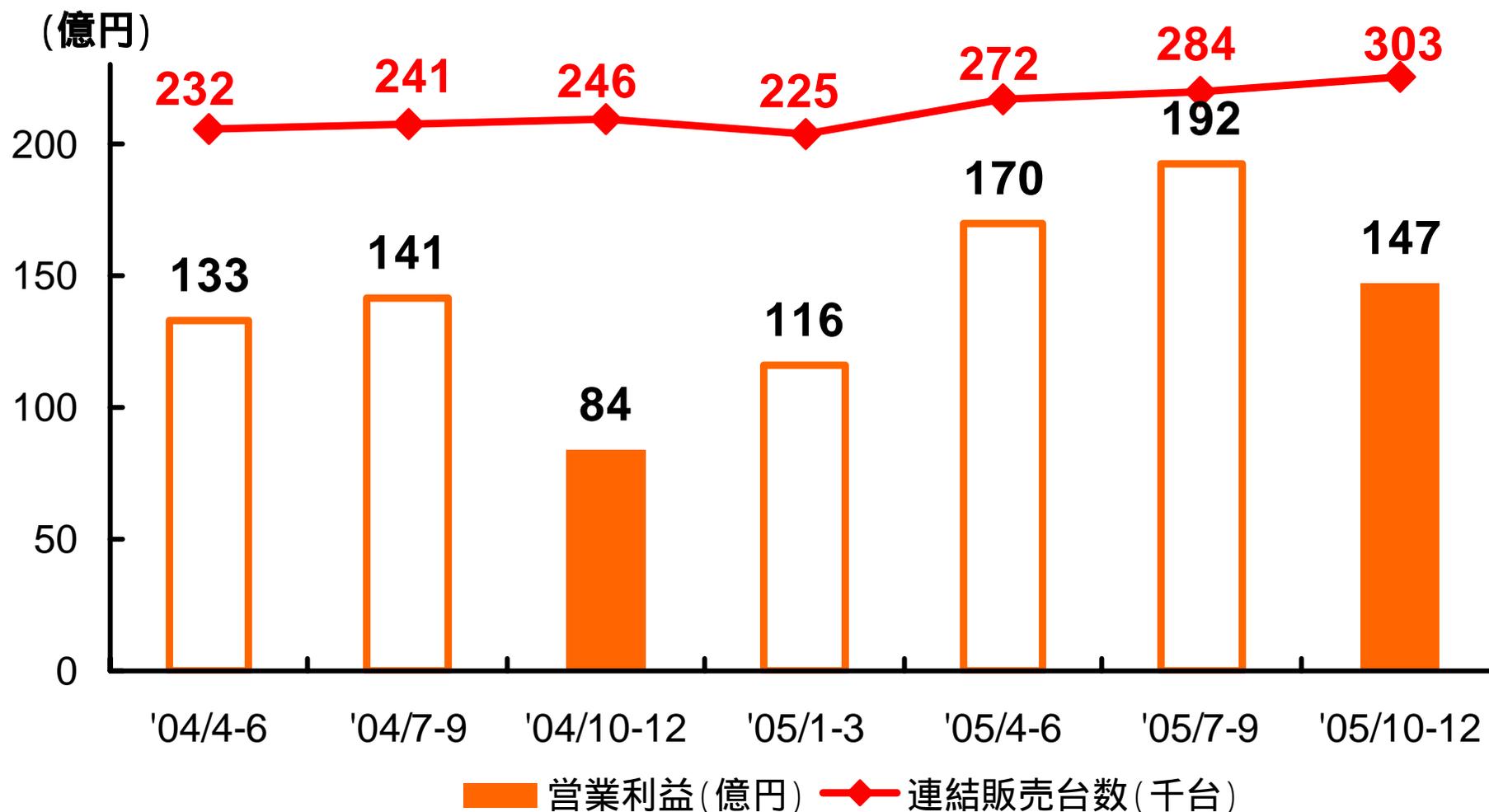
所在地別営業利益: アジア



- ・販売台数は前年同期比22千台増加
- ・IMVを中心に引き続き高効率を維持
- ・利益レベルが一段と上昇

TOYOTA

所在地別営業利益：その他地域(アフリカ・中南米など)

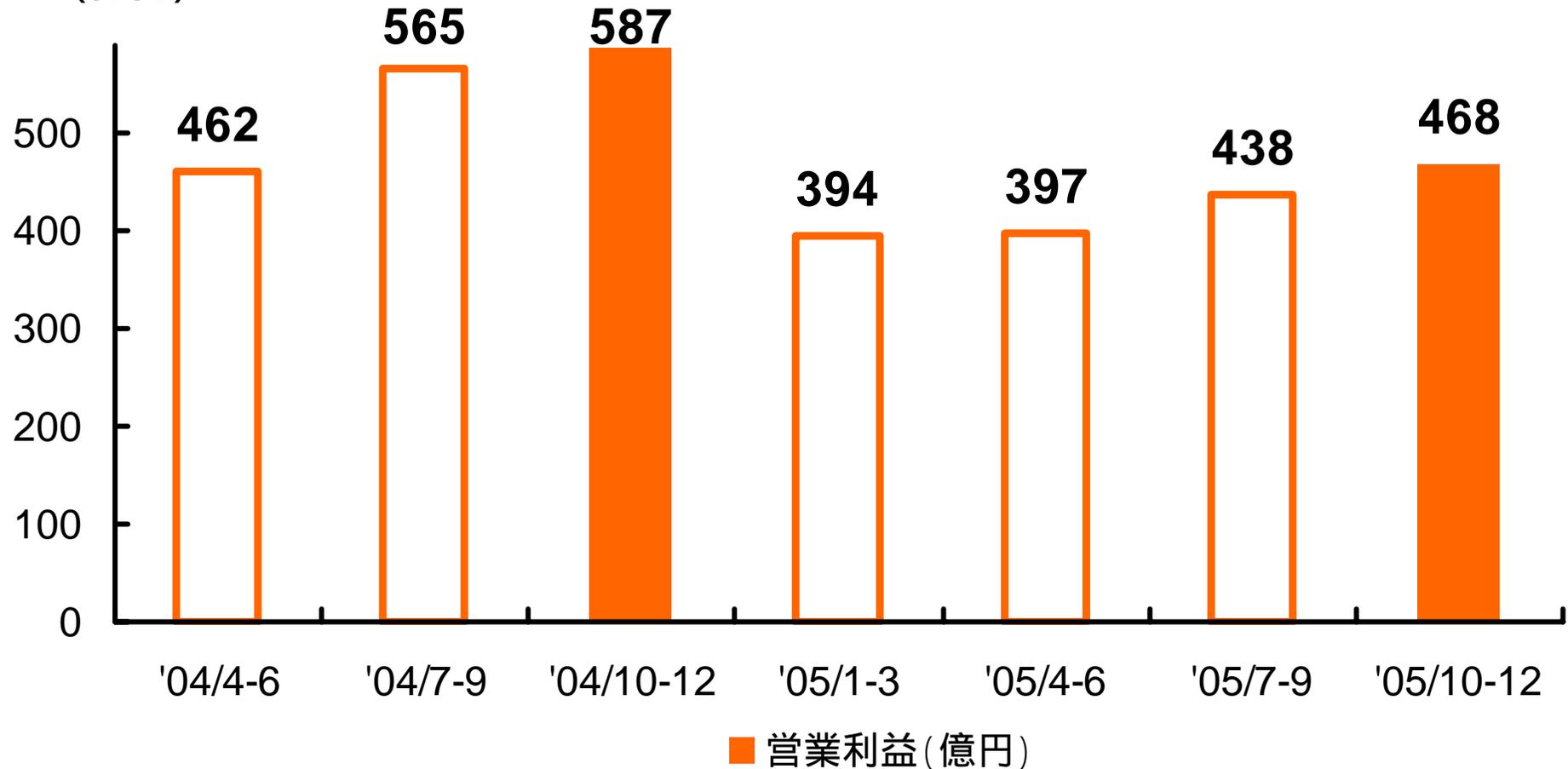


・販売台数は前年同期比57千台増加

TOYOTA

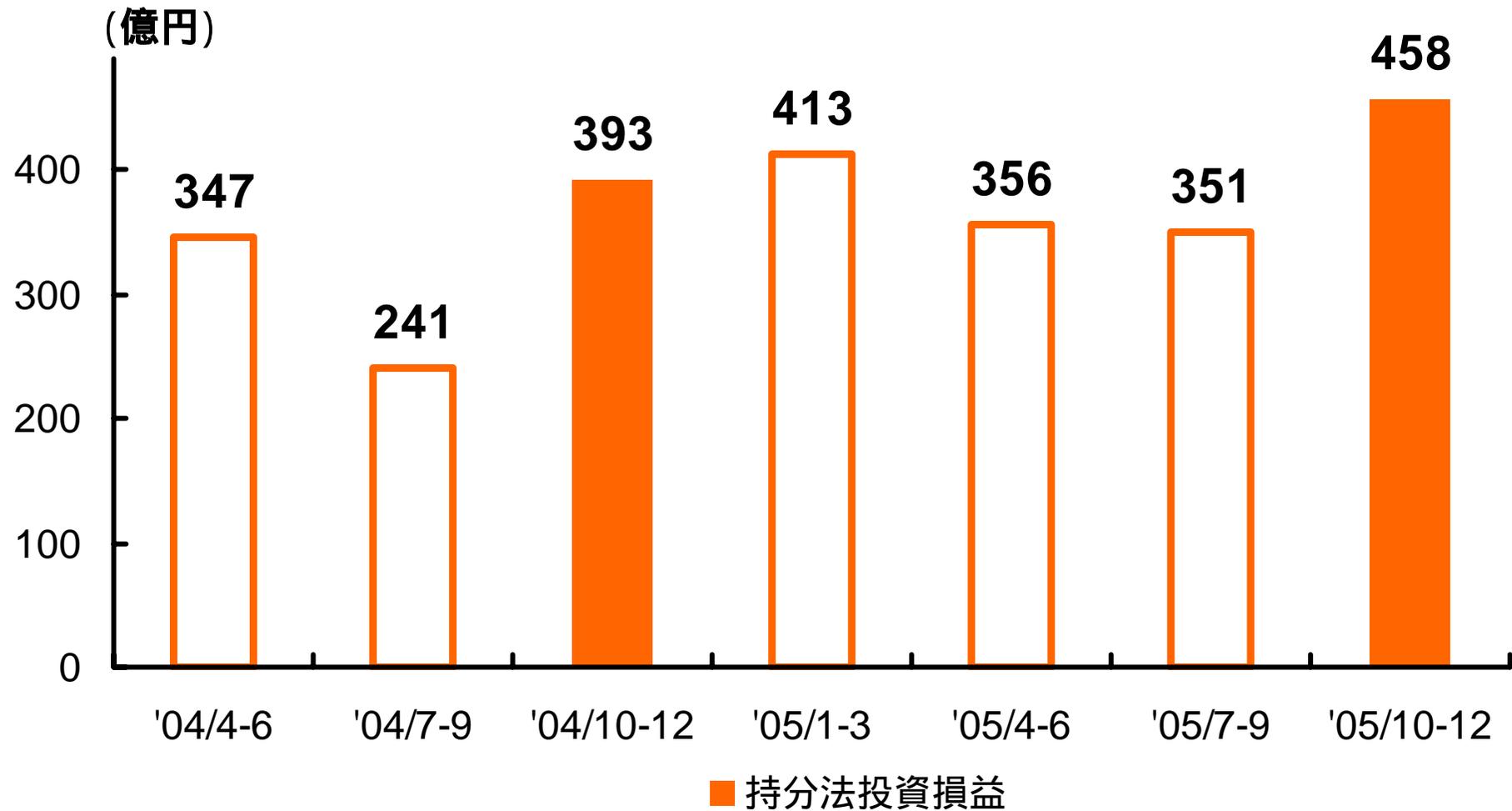
事業別セグメント：金融

(億円)



- ・米国の販売金融子会社の金利スワップ取引などの評価損益の影響 : 134億円
- ・米国の販売金融子会社の過年度損益修正益の影響 : 76億円

持分法投資損益



・国内グループ会社、中国合弁事業体を中心に好調

TOYOTA

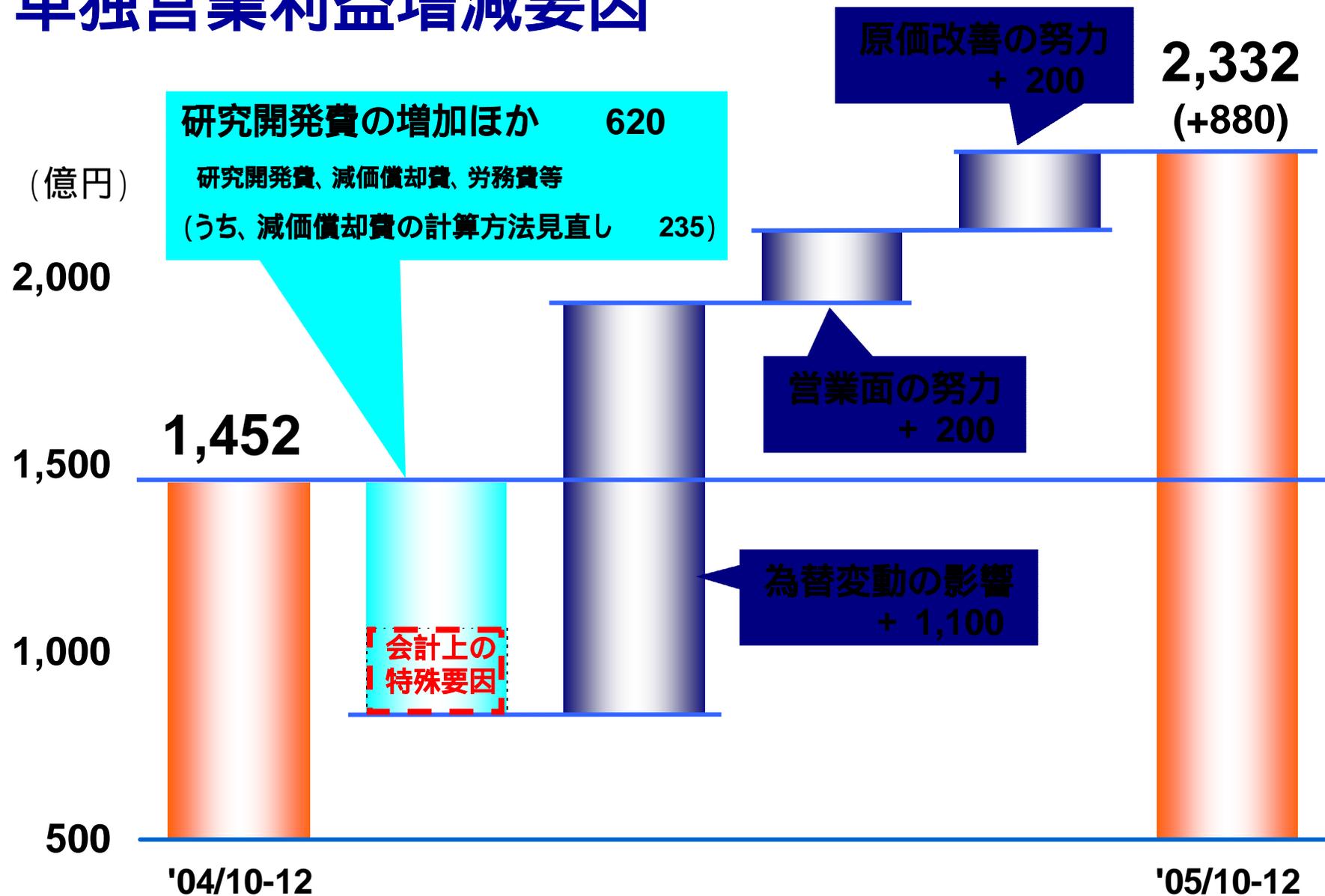
单独決算要約

<日本基準>

	当第3四半期 (05/10-12)	前年同期 (04/10-12)	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	26,618	23,333	3,285	14.1
営業利益	2,332	1,452	880	60.6
経常利益	3,523	2,526	997	39.5
当期純利益	2,450	1,557	893	57.4

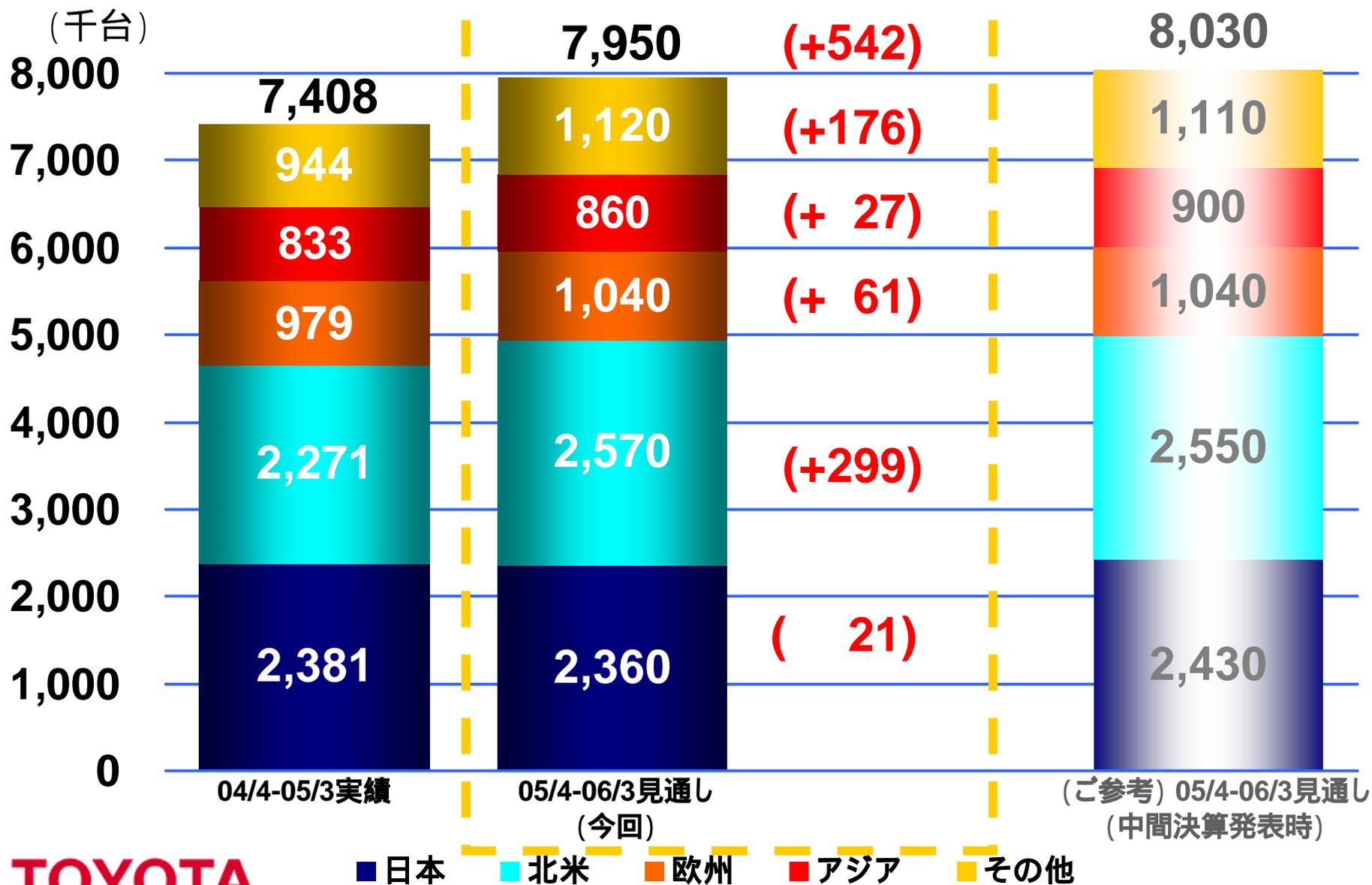
TOYOTA

単独営業利益増減要因



TOYOTA

通期見通し: 連結販売台数



()内は05/3実績からの増減

TOYOTA

通期見通し：設備投資・減価償却費・研究開発費

	設備投資 (億円)	減価償却費* (億円)	研究開発費 (億円)
連結計	14,000 (+3,128)	8,800 (+1,042)	8,000 (+449)
日本	8,400 (+1,650)	5,600 (+ 716)	
北米	2,500 (+ 963)	1,600 (+ 70)	
欧州	1,200 (+ 473)	800 (+ 87)	
アジア	1,100 (- 249)	450 (+ 68)	
その他	800 (+ 291)	350 (+ 101)	

TOYOTA ()内は05/3実績からの増減

* 単独決算における減価償却費の計算方法
見直しのため、400億円増

< 参考資料 >

台数等の見通し(トヨタ・レクサス)

		通期見通し (05/4-06/3)	前期実績 (04/4-05/3)
生産	国内	3,840 千台	3,749 千台
	海外	3,740	3,127
国内販売		1,760	1,805
輸出		2,130	1,982
海外現地販売		5,670	5,044
住宅		4,600 戸	4,392 戸

TOYOTA

2006年3月期 第3四半期 決算説明会



TOYOTA

**トヨタ自動車株式会社
2006年2月7日**